

# 2022年2月期 決算説明会資料

2022年4月18日 株式会社 柿安本店

## 1. 2022年2月期 連結業績



〔通期〕 (単位:百万円)

	2022年 2月期実績	(対売上比)	前年 差異 (※参考)	前年比 増減 (※参考)	2022年 1月14日 開示予想 差異
売上高	37,998	-	+709	+1.9%	△201
(売上原価)	18,248	48.0%	△621	△3.3%	_
(販管費)	16,972	44.7%	△131	△0.8%	_
営業利益	2,777	7.3%	+1,462	+111.2%	+77
経常利益	3,287	8.7%	+1,763	+115.8%	+137
当期純利益	1,704	4.5%	+1,440	+546.8%	+24

<sup>※ 2021</sup>年6月1日付で株式会社KHフードサービスを新設分割したことに伴い、2022年2月期第2四半期より連結財務 諸表のみ作成しておりますが、参考として2021年2月期の個別財務諸表との比較を表記しております。

# (四半期業績推移)



(単位・五万四)

	(単位:百万円)									
	2022年 2月期 第1四半期 会計期間		2022年 2月期 第2四半期 会計期間		2022年 2月期 第3四半期 会計期間		2022年 2月期 第4四半期 会計期間		2022年 2月期 通期	
		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異
精肉	3,669		3,764		3,692		4,709		15,836	
惣菜	2,747		2,868		2,810		3,304		11,730	
和菓子	1,908		1,354		1,483		1,888		6,635	
レストラン	514		444		431		404		1,794	
食品	233		522		621		623		2,000	
売上高	9,073	130.4%	8,954	95.0%	9,039	93.5%	10,930	97.3%	37,998	101.9%
精肉	309		342		345		657		1,653	
惣菜	240		269		283		450		1,243	
和菓子	303		△45		101		346		706	
レストラン	∆93		△57		∆30		△44		△225	
食品	20		94		160		44		320	
(調整額)	△228		△226		△227		△238		△921	
営業利益	551	+1,145	378	+55	632	+36	1,214	+224	2,777	+1,462
経常利益	598	+1,187	552	+155	846	+225	1,289	+194	3,287	+1,763

## (2022年2月期 セグメント概要)



#### [通期]

(単位:百万円)

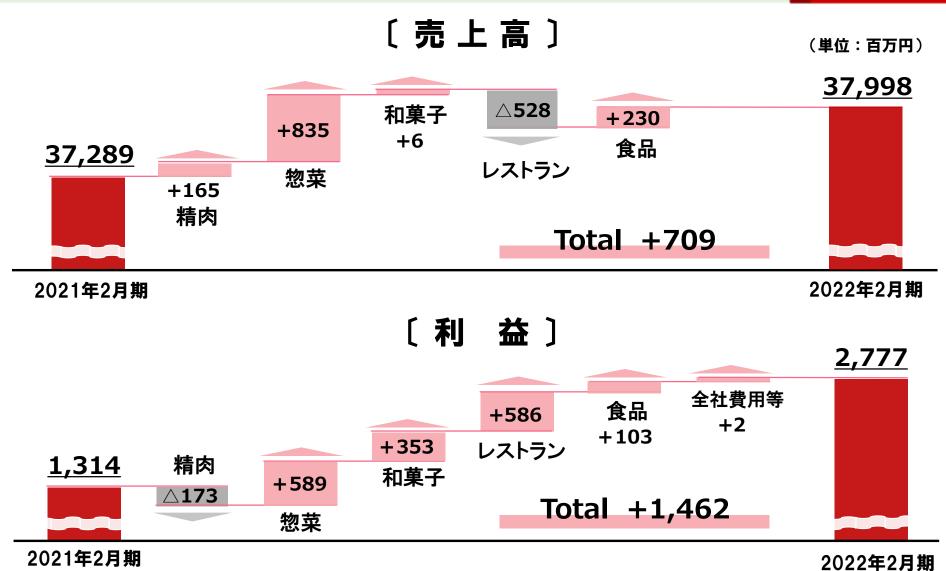
		売上高			セグメント利益または損失(△)			
	2022年 2月期	2021年 2月期 <sup>(※)</sup>	<b>前年比</b> (%)	前年 差異	2022年 2月期	2021年 2月期 <sup>(※)</sup>	<b>前年比</b> (%)	前年差異
精肉事業	15,836	15,671	101.1%	+165	1,653	1,826	90.5%	△173
惣菜事業	11,730	10,895	107.7%	+835	1,243	654	190.0%	+589
和菓子事業	6,635	6,629	100.1%	+6	706	352	200.1%	+353
レストラン事業	1,794	2,322	77.3%	△528	△225	△812	_	+586
食品事業	2,000	1,770	113.0%	+230	320	216	147.8%	+103
(調整額)	_	_	_	_	△921	△924	_	+2
合計	37,998	37,289	101.9%	+709	2,777	1,314	211.2%	+1,462

<sup>※ 2021</sup>年6月1日付で株式会社KHフードサービスを新設分割したことに伴い、2022年2月期第2四半期より連結財務諸表のみ作成して おりますが、参考として2021年2月期の個別財務諸表との比較を表記しております。

# ◆ 2022年2月期

## セグメント別売上高・利益 増減要因





#### 2. 2023年2月期 業績予想



(単位:百万円)

	2023年 2月期予想	(対売上比)	前年 差異	前年比 増減
売上高	37,200	-	△798	<b>△2.1%</b>
(売上原価)	17,560	47.2%	△688	△3.8%
(販管費)	16,640	44.7%	∆332	△2.0%
営業利益	3,000	8.1%	+222	+8.0%
経常利益	3,000	8.1%	<b>△287</b>	△8.7%
当期純利益	1,850	5.0%	+145	+8.6%

<sup>※5</sup>月開催の株主総会での承認を前提に、決算期を2月から4月に変更を予定しており、当期は14か月決算となります。 2023年4月期予想(14か月決算予想)についてはあらためて開示致します。

# ◆ 出退店の状況



	出店実績	退店実績	2022年2月 期末店舗数	出店 計画	退店 計画	2023年2月 期末店舗数
精肉事業	_		40	1	1	40
惣菜事業	1	3	89	3	_	92
和菓子事業	2	14	175	6	_	181
レストラン事業		17	22	<u>—</u>	—	22
食品事業	_	1	9		_	9
合計	3	35	335	10	1	344

### 3. 前期の取り組みについて



- ①事業構造改革
- ・レストラン、和菓子の不採算店を整理し、 高利益な事業構造に変革
- ②DX化によるビジネスモデルの変革
- ・Data Driven方式にPDCAを繰り返し行い、 製造・販売の最適化を図り、高利益を達成
- ③新商品開発、販路拡大
- ・商品付加価値の見直し
- ・コンビニ、食品メーカーとの取引拡大の着手

# 4. 今期の取り組みについて「成長へのリスタート」



- ①4期ぶり店舗数増へ
- ・基幹事業の精肉、惣菜の積極的な出店
- ・精肉/惣菜/和菓子の複合出店
  - → 売上増/効率化を目的とした 既存の店舗への他業態の併設化
- ②DX化の更なる推進
  - ・惣菜、和菓子の取組みを精肉にも適用
- ・損益分岐点の改善による出店可能範囲の増加
- ③新商品開発
- ・家庭内食を意識した高付加価値商品の開発継続
  - → 強みである「肉」関連商品の強化
  - → コンビニ・食品メーカーとの取引継続、コラボ商品開発



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手 している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成 を当社として約束する趣旨のものではありません。 また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。